

宮陵会報 Kyu-Ryo

2019・7

No.108

発行責任者

一般社団法人
神奈川大学宮陵会
広報委員会

〒221-0802
横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学内
TEL 045-481-5661
(内線 2451~3)
FAX 045-413-0791
印刷所 株式会社 江森印刷所



Contents No.108

新会長に久保清治氏を選出	6
2019(令和)年度定時社員総会	2
新役員の紹介	4
平成30年度事業報告・決算	5
2019年度事業計画・予算	5
宮陵会館の設計者に聞く	6
表彰者・ホームカミングデーのお知らせ	7
ブロック会開催予定	8
宮陵会だより	8

新会長に久保清治氏を選出

二〇一九（令和）年度 定時社員総会

二〇一九（令和元）年度の社員総会（代議員総会）は六月八日、横浜キャンパス十六号館セレストホールで開かれ、社員一五九人が出席した。二〇一八（平成三十）年度に選任の新社員総数は一八三。総会は本人出席が一一八人、議決権行使一七、委任状二四であった。総会に先立ち前年度に逝去された社員の宇野峰雪、佐藤世詩則両氏のご冥



定時総会にて挨拶する大場会長

福を祈り、全員で黙祷をささげた。その後、横浜専門学校、神奈川大学両校の校歌を斉唱し、開会した。

前年度に引き続き司会の庄司さち子理事（昭和五四年法律卒）が、出席した名誉役員、理事、監事を紹介。大場憲治会長（昭和四四年経済卒）は定款第一六条に基づき、総会の議長選任を諮り、議長に間中辰副会長（昭和四四年経済卒）を満場一致で選任した。また、佐藤武専務理事（昭和五六年経済卒）は、総会が定款第一八条の定める社員総数の過半数を満たし、成立している旨を報告した。間中議長は、議事録署名人として余昭（昭和四一年工経卒）と高橋一行（昭和三七年経済卒）の両氏を指名し、大場会長の挨拶後に審議に入った。

報告事項として、久米信行専務理事（昭和四九年経済卒）が、二〇一八年度の事業報告と今年度二〇一九の事業計画と予算について報告した。泉澤高光氏（昭和四七年英文卒）からは地域組織の活性化対策について、庄司忠宏氏（昭和四〇年工経卒）からは本部財政基盤の確立についての質問や要望があった。決議事項として、久米専務理事は一

号議案の「平成三〇年度決算承認の件」を説明。三繩昭男監事（昭和四三年貿易卒）が監査報告をした後、審議に入り、一号議案は原案通り承認された。続いて佐藤専務理事が二号議案の「役員選任の件」について説明。間中議長が定款第一九条第三項の規定により候補者ごとに決議を行い、原案通り全員が承認された。

総会終了後の会場で本会の表彰披露が行われる間に、別室で新役員による

会長退任の挨拶



会員の皆さま、お元気でご活躍の事と存じます。私は、令和元年の総会で長らく務めて参りました。

た役員（会長）を辞する事にしました。平成一三年度に初めて理事に推薦され三期六年、平成一九年度から専務理事を三期六年務めました。今思えば事務職員も少なく、会費の改定や平成一九年度の宮陵会設立七〇周年記念事業の取りまとめに夜遅くまで苦労したことや平成二三年東日本大震災による支援、復旧・復興に奮闘する卒業生の首

臨時理事会が開かれ、新会長に久保清治氏（昭和四三年貿易卒）など三役を決め、その旨が会場で発表された。役員一覧は四ページ。

来賓として学校法人からは牧内良平理事長、兼子良夫学長、小林孝吉常務理事、永和田隆一理事・事務局長が来場。久保宮陵会新会長は挨拶後に「米田吉盛教育奨学金募金」の目録を牧内理事長に贈呈した。

牧内理事長や兼子学長の祝辞の際には、母校のますますの発展に期待する大きな拍手が会場から沸き起こった。その後、会場を一号館八階に移し、大学関係者を交えた懇親会が和やかな雰囲気の中で行われ、全ての日程が終了した。

第十八代会長 大場 憲治

長を訪問し、卒業生の活躍に感動するなど、なかなか出来ない経験をさせていただきました。

八〇周年式典と宮陵会館の完成

平成二四年から宮陵会の一般社団法人移行への取り組みで文部科学省との打合せなども経験し、多くの案件に取り組みました。平成二五年度から副会長を、平成二七年度からは二期四周年会長を務めました。会長時代は平成二八年の熊本地震被害、平成三〇年の西日本豪雨被害、北海道胆振東部地震被害などを含め多くの案件に取り組み

ました。なかでも、平成三〇年六月の宮陵会設立八〇周年記念式典の実施や多くの卒業生が待望した平成三一年三月の宮陵会館（三〇号館）の完成は、会長任期中の大きな出来事だったと思います。これらは、多くの委員のご苦勞があつて達成出来たものであり、改めて感謝を申し上げます。

想い起こせば色々な事がありました。が、あつと、言う間の一八年間であります。長期にわたり宮陵会役員、特に会長職を務められたのも多くの諸先輩を始め、理事・監事・事務局の皆さま、特に三役の皆さんの温かいご指導やご協力があつてこそと、改めて感謝申し上げます。

会員の皆さんと大学関係者に感謝

また、全国の会員の皆さまとの出会いを通じて多くを学ぶ事が出来ました。本当に有難うございました。全国ブロック会や地域組織の総会に出席させていただき、全国の卒業生をとて身近な存在に感じることができました。また、宮陵会会長としてやってこられたのは、理事長や学長を始とした大学関係者の皆さんの長期にわたるご指導、ご支援、ご協力があつての事と心から感謝申し上げます。

最後になりますが、神奈川大学の益々の発展と宮陵会の皆さまのご活躍を心からお祈り申し上げます、退任の挨拶とさせていただきます。

会長就任の挨拶

第十九代会長 久保 清治



このたび会長に就任いたしました、久保でございます。任期中、宮陵会の発展に全力を尽す所存ですので、どうぞ会員の皆さまの御理解と御協力のほど、切にお願い申し上げます。

五〇年間のふりかえる

私が経済学部貿易学科に入学したのは、昭和三九年（東京オリピックが開催された一九六四年）で、神大（同学部）を卒業してから半世紀の五〇年が経ちました。

いま、この五〇年を簡単に振り返りますと、日本の経済社会には予想しえない色々な出来事が多く発生しました。他方、わが国の大学を取り巻く状況は大きく変化、同時に、わが母校神大が置かれている環境も著しく変わり、今後、そうした予想しがたい、準備の整わない変動の大きな渦に巻き込まれるのではないかと、と危惧しております。

まず日本経済についてですが、昭和四〇年・五〇年代は、高度成長、オリピックや万博景気などで、工業化が進展して、日本は先進国の仲間入り。個人所得水準も年々上昇、学生の就職難も解消、総じて物質的には「豊かな経済社会」を実現した。平成時代に入

ると、バブル経済の発生と崩壊により、会社の倒産や物価の急騰などで経済は大混乱。その後のリーマンショックを経て、現在は、GDP伸び率が非常に低い単純生産の繰り返し（よって可処分所得は伸び悩み、生活は楽にならず現在、国民一人あたりの国内総生産は世界で二六位、OECD諸国の中で最低水準）、労働人口の減少による外国人労働者の急増、高齢化による社会保障費の増加などにより財政赤字は毎年累増している。

大学の置かれている状況

次に、わが国の大学が置かれている状況は非常に厳しい。一方では、出生率の低下に伴う一八才人口の減少（一九六六年・昭和四一年の最高の約二五〇万人から、神大の創立一〇〇周年の二〇二八年には約一〇〇万人、進学者数は五〇万人と大幅に減少）。他方では、規制緩和による大学設置数の増加（過去二〇年間で二四〇校増、現在の私大数は六〇〇校を超える）により、学生の需給バランスは完全に崩れた。若者は今や選り好みしなければ、大学全入時代。偏差値の低い地方の私大は、現在、定員割れによる財政難で存続の危機・消滅に瀕している（今後一〇年間でおよそ一〇〇校の倒産が予想されている）。

このような我が国の大学を取巻く厳しい状況のもと、母校の神大は、この五〇年間に、一体どのような足取りを辿ったのか。一言でいうと、それは拡大大路線を続け「大規模大学」になったことです（入学定員三、〇〇〇人以上の大学をいい、現在、日本には二三校あ

る）。ご承知のとおり、神大はいま、大学院九研究所、七学部二〇学科、一〇の研究所。キャンパスおよび校舎は六角橋の三〇棟、湘南ひらつかの一四棟と各種の運動場二年後には建設中の「みなとみらい21キャンパス」、横浜線中山に「中・高の附属学校」。専任教員五五〇人、非常勤講師一、〇五〇人、職員三八〇人から成る一大総合学園である。

このような量的拡大に比し、教育・研究の質的側面はどうか。先生の研究論文の発表数が多い、卒業生は良質なミドル層を形成し、同窓生の会員数・創業社長が多く、在学生の文化・スポーツ面の活躍は著しく、法人の財務力も良好。総じて社会からの神大教職員や学生に対する評価は高くて誇らしい。ただ、ここ二〇年間、神大の偏差値が低下傾向にあるのが非常に気になる。（因果分析が急務＝私見）

同窓生の活力源は大学の発展

周知のとおり、大学の同窓生の活力は、大学の発展に大きく依存する。したがって、宮陵会は定款に掲げられているように、これまでどおり、会員相互の親睦・協力のもと、我が母校・神大の発展に全面的に支援し続けて参る所存です。"Jindai grade up again!"

なお、宮陵会の会員から御指摘を頂いている内部の諸課題については、今後、地域組織や本部の役員・諸先輩の皆さまと十分に協議しながら、解決に向け前進して参りたいと思っております。会員の皆さま、今後とも変らぬ御指導と御鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

新役員紹介



専務理事
萩原 くみこ
(昭59法)



専務理事
佐藤 武
(昭56経)
組織委員会委員長



専務理事
久米 信行
(昭49経)
総務財政委員会
委員長



副会長
三宮 政俊
(昭51法)
事業委員会委員長



副会長
原 柳作
(昭46英)
広報委員会委員長



会長
久保 清治
(昭43賢)



理事
渡邊 恵子
(昭52法)
女性委員会委員長



理事
宮澤 俊次
(昭48経)



理事
春原 正三郎
(昭47法)



理事
藤井 俊二
(昭46法)



理事
会田 彰
(昭45賢)



理事
大石 一二
(昭45法)



理事
指旗 博
(昭62応化)



理事
能重 幸夫
(昭62経)



理事
手塚 正
(昭60英)



理事
永田 晴彦
(昭58賢)



理事
堀江 美田紀
(昭58法)



理事
庄子 さち子
(昭54法)



監事
横山 朗
(平18法務)



監事
今田 正紀
(昭45経)



監事
三縄 昭男
(昭43賢)



理事
矢島 俊明
(平11国経)



理事
赤井 昭二
(平6応化)

任期は二〇一九(令和元)年六月八日から二〇二二(令和三)年定時総会終結まで

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表表体。科目、当年度、前年度、増減の欄あり。I 資産の部、II 負債の部、III 正味財産の部が主目。

平成30年度 事業報告

- 会誌は正会員(59,616人)へ、会報(夏・冬)は住所判明者全員(約106,000人)へ送付。
■神奈川大学主催のホームカミングデー、卒業祝賀会、陸上競技部駅伝報告会に、協賛金として合計630万円を寄付。
■学校法人神奈川大学「米田吉盛教育奨学金」募金へ1,200万円を寄付、給付奨学金として学部生5人および大学院生12人に対し、総額6,162,500円を給付。
■在学生が関わる神奈川大学の入学式・卒業式の野外イベント、サークル活動並びに神大フェスタ・平塚祭の支援として約80万円を助成。
■宮陵会設立80周年記念事業として、6月9日に記念式典・祝賀会を開催し、約210人のご出席をいただいた。また、「宮陵会報」第85号から第105号および号外を収録した「宮陵会報<縮刷版>」を刊行。
■2019・2020年度の代議員185人が選任された。
■西日本豪雨、胆振東部地震、台風19・20・21号の災害罹災地域組織へお見舞金を贈呈。
■学校法人神奈川大学により、3月28日に宮陵会館(横浜キャンパス30号館)の竣工式が行われ、4月に事務局が移転。

2019年度 事業計画

- 2019・2020年度の役員(理事20人、監事3人)を選任。
■設立80周年記念事業として、「設立80周年記念誌 宮陵会「平成のあゆみ」」を刊行。
■宮陵会館での地域組織総会開催など宮陵会館の運用開始。
■準会員(在学生)を対象とした宮陵会ロゴマークの募集。
■事業の抜本的な見直しをはじめとした、事業・経費の合理化策を検討。当年度は会誌・会報、全国地域組織代表者会議とブロック会の活用について検討。

正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

正味財産増減計算書表体。科目、当年度、前年度、増減の欄あり。I 一般正味財産増減の部、II 指定正味財産増減の部、III 正味財産期末残高が主目。

正味財産増減予算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位:円)

正味財産増減予算書表体。科目、予算額、備考の欄あり。I 一般正味財産増減の部、II 指定正味財産増減の部、III 正味財産期末残高が主目。

宮陵会館の設計者に聞く

今回は、二〇一九(平成三二)年三月二十八日に竣工した神奈川大学宮陵会館(三〇号館)の設計・監理に携われた合同会社ミタリ設計の社員であり神奈川大学OBである松林大輔、井口恵之、濱口光の三氏からコンセプトや設計業務での印象などについて伺いました。

【経歴】

松林 大輔氏

一九八二年一月

静岡県榛原郡 吉田町生まれ

(大学では室伏研究室所属)

井口 恵之氏

一九八二年四月

静岡県浜松市天竜区 春野町生まれ

(大学では山家研修室所属)

濱口 光氏

一九八三年一月

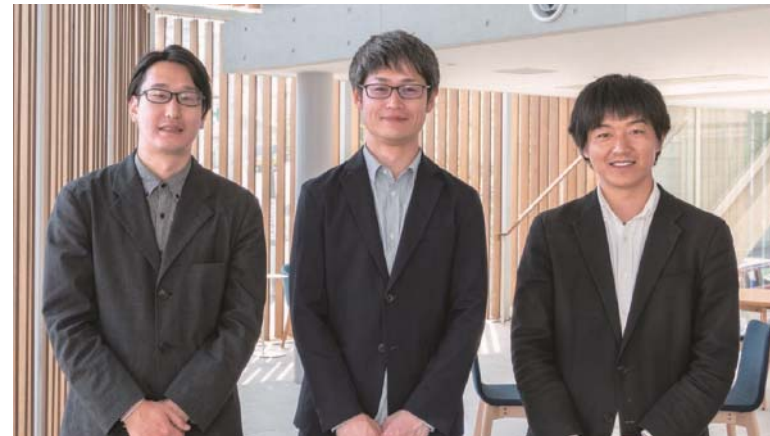
兵庫県明石市 生まれ

(大学では室伏研究室所属)

三氏ともに二〇〇五年三月に本学工学部建築学科を卒業し、二〇〇七年三月に本学大学院工学研究科建築学専攻博士前期課程を修了。

【会社紹介】

三氏ともに大学院修了後にそれぞれ数年間の設計事務所勤務を経て、二〇一四年に三人で合同会社ミタリ設計を設立。在学中から仲が良く、建築のデザインコンペなどに共同で取り組むこともあり、「ゆくゆくは一緒に仕事ができたらいいね」という話をしてきたとのこと。社名は、「三人」を表せる言葉がないか、と考え、昔の人数の数え方



左から設計者の井口恵之氏、松林大輔氏、濱口 光氏

の「ひとり、ふたり、みたり」から「ミタリ」と命名されたようです。

プロジェクトによって三氏の分担は相談されるようで、設計初期の段階では三人で協働してアイデアを出し合うことが多く、松林氏は一番堅実で細部まで丁寧にみるタイプ(井口氏談)、井

口氏は作業が早く初期検討段階では設計の大枠を考えるタイプ(濱口氏談)、濱口氏は言葉で表現することが得意で外部への説明や事務所のまとめ役(松林氏談)と三者三様のようで、三人がそれぞれの強みを生かしながら良いバランスで運営されていることがうかがえます。

三〇号館のコンセプト

松林 コンセプトは「丘のような建築」で、スキップフロアという形式を採用し傾斜のある地形に沿ったならかな形状が特徴です。階段を上っていくと後ろに来た道が見えたり、登っていくうちに新たな景色が見えたりと、全ての空間が丘のように途切れなく繋がっています。また、三〇号館付近は「東門プロムナード」と呼ばれ、周りに一六、一八、二一号館があるのですが、それぞれ独立したのではなく、一体となって横浜キャンパスのゲートとなるような景観に心がけました。

濱口 一階の大きなピロティも、周辺との関係性から生まれたものです。向かいの一六号館側には歩道がありますが、三〇号館側には設けられていま

せん。安全に歩いていけるルートが両側にほしいという要望があり、歩道としても機能するピロティを設けました。多目的な空間が多いのも三〇号館の特徴です。「会議室」などの用途が決まっている空間は半分程度で、残りの半分は自由に使えるラウンジとなっています。

設計で印象に残ったこと

井口 設計初期に、まったくタイプの異なる四パターンを提案し、このスキップフロア型に決定しました。どの案を採用するかは当然私たちだけでは決められず、発注者である神奈川大学当局の意向次第ですが、提案した中でも挑戦的な案が選ばれたのは印象深かったです。

濱口 今回特徴的だったのは、プロジェクトチームの中に建築学科の先生方がいらつしやったことです。大学内での合意形成には時間がかかりますが、さまざまなチャレンジを応援、後押ししていただきました。「東門プロムナードエリアの再整備計画」の初期段階では在学生も関わっており、「大学の中にこんな建物や機能があればいい」といった意見が出されていました。このような形で先生や学生がキャンパス計画に参加するプロジェクトは珍しく、大変貴重な経験となりました。

卒業生としての思い

濱口 大学のようなスケールの大きな建築に携わりたいという思いはあり



最大63人収容可能な地下会議室

ましたが、まさかそれが母校のものとなるとは思いませんでした。大変名誉はことだと感じています。

三〇号館への期待

濱口 卒業生はもちろん、学生や近隣住民の方にも使っていただける空間

になれば嬉しいのです。今後の運用においては、例えば建築学科の卒業設計展など、展示会の場として活用するのも面白いのではないのでしょうか。

抱負と目標

松林 廊下の壁際にはピクチャールールを備えています。パネルなどをつるして展示しやすい仕様となっておりますので、ぜひ有効活用していただきたいです。

井口 今年、設立五年目にして初めて社員を雇いました。神大の卒業生です。さらに会社を発展させて、もっと多くの卒業生をメンバーに迎えたいです。

濱口 卒業生である私たちが設計を担当したことで、先生方も大いに喜んでくださいました。「世の中には『作品』と呼べない建築も多い中、三〇号館は『作品』だ」と評価していただいたのは嬉しかったです。建築のアワードにも応募して受賞を狙っていきたいです。

松林 私たちは三〇代半ばですが、独立後の実績を考えるとまだまだ若手という中で、母校からこういう機会をいただけたのはありがたかったです。設計はひとつの実績から仕事が広がる世界でもあるので、大きな実績として今後に繋げていきたいです。

この記事は、2019年6月発行の「学校法人神奈川大学KJ PJ Journal Vol.04」から一部を編集して作成しました

表彰者

功労表彰

(表彰規程第二条第二号該当) 地域組織関係

- 根来 道徳氏 昭和37年法経学部法学科卒業
元大阪府宮陵会会長・理事
安達 清氏 昭和46年工学部電気工学科卒業
元鳥取県宮陵会会長
○地域組織代表者(支部長)の職に10年以上あった者で、本会の発展につくした功労が特に顕著な者。

感謝表彰

(表彰規程第二条第三号該当) 地域組織関係

- 宮崎 高志氏 昭和45年経済学部貿易学科卒業
元函館宮陵会会長・副会長
吉野 忠氏 昭和42年経済学部貿易学科卒業
元宮城県宮陵会副会長・幹事
高森 信雄氏 昭和44年工学部建築学科卒業
元宮城県宮陵会幹事長・幹事
宮嶋 清明氏 昭和43年経済学部経済学科卒業
元石川県宮陵会会長

ホームカミングデーのお知らせ

横浜キャンパス(第二五回)

日程 令和元年10月13日(日) 午前10時受付開始
場所 神奈川大学横浜キャンパス内
詳細は後日神奈川大学ホームページにてお知らせいたします。
ご友人、ご家族をお誘いのうえ、懐かしい母校で、秋のひとときをお楽しみください。
神奈川大学ホームカミングデー実施事務局(総務部校友課)
TEL 〇四五-四八一-五六六一(代)
FAX 〇四五-四八一-二七四一



昨年の湘南ひらつかキャンパス

湘南ひらつかキャンパス(第二七回)

日程 令和元年10月26日(土) 午前11時30分開始(予定)
場所 神奈川大学 湘南ひらつかキャンパス 四号館厚生棟二階S01(第二食堂)
神奈川大学平塚事務部庶務課
TEL 〇四六三一五九一四一一
FAX 〇四六三一五八一九六八八
E-mail: kushc-shomu@kanagawa-u.ac.jp



昨年の横浜キャンパス

- 花岡 鉄男氏 昭和46年法学部法律学科卒業
元石川県宮陵会事務局長・副会長
佐藤 隆志氏 昭和53年経済学部経済学科卒業
元千葉県宮陵会会長・事務局長
○地域組織代表者(支部長又は会長)の職に6年以上あった者で、本会の発展につくした功績があった者。
○地域組織(支部) 役員(支局長又は会長)の職に10年以上あった者で、本会の発展につくした功績があった者。
ただし、役員は、副会長(副支部長)、及び事務局長、幹事長の職とし、顧問、相談役、参与等名譽職は含まない。

特別表彰

(表彰規程第二条第四号該当)

- 原田 海氏 人間科学部人間科学科3年
IFSC世界ユース選手権モスクワ2018
ジュニア ボルダリング 3位
ジュニア リーディング 3位
IFSCクライミング・世界選手権2018
ボルダリング 優勝
リード 10位
複合 4位
○国内または海外において、特に秀でた活躍をし、本会ならびに神奈川大学の名声を著しく高揚することに寄与した正会員、準会員及び団体。

楽しいイベントで参加をお待ちしています

全国のブロック会では地域組織の代表者によるブロック会議に併せて、主管地域以外のブロック内の会員の皆様にもご案内し、ご参加いただけます。なお参加ご希望の方は事前のお申し込みが必要です。2019（令和元）年度の開催予定は、下記のとおりです。

開催日	ブロック名 主管地域組織	会場	内容
9/7 (土)	北海道ブロック会 室蘭	室蘭プリンスホテル	15:30 - ブロック会 17:30 - 講演 18:30 - 写真撮影 18:40 - 懇親会
10/5 (土)	四国ブロック会 愛媛県	未定	未定
11/2 (土)	神奈川県ブロック会	神奈川大学横浜キャンパス	15:30 - 記念講演会 17:00 - 懇親会
11/3 (日)	北陸ブロック会 富山県	ホテルグランテラス富山	未定
11/16 (土)	東北ブロック会 岩手県	ホテルメトロポリタン盛岡	13:30 - ブロック会 14:40 - 岩手県宮陵会設立 70 周年記念式典 15:35 - 70 周年記念「特別対談」 17:15 - 記念写真撮影 17:30 - 祝賀会
11/16 (土)	九州・沖縄ブロック会 沖縄県	ネストホテル那覇	13:00 - 沖縄県宮陵会総会 15:00 - ブロック会長会議 16:30 - ブロック会

宮陵会情報

■ 会議予定

理事会

2019 (令和元) 年 9月20日 (金)

11月29日 (金)

2020 (令和2) 年 2月1日 (土)

3月7日 (土)

■ 全国地域組織代表者会議

2019 (令和元) 年 10月12日 (土)

■ 新規設立地域組織

フロイデコール・レジェンド宮陵会

■ 解散地域組織

三十路宮陵会

■ 地域組織 (地域) 総会開催予定

2019 (令和元) 年

8月18日 (日) 佐賀県宮陵会

8月24日 (土) 鳥取県幡宮陵会

8月31日 (土) 大分県宮陵会

9月14日 (土) 静岡西部宮陵会

9月28日 (土) 茨城県宮陵会

9月28日 (土) 岐阜県宮陵会

9月28日 (土) 奈良県宮陵会

11月9日 (土) 新潟県宮陵会

11月30日 (土) 広島県宮陵会

11月30日 (土) 神奈川県宮陵会

■ 訃報 謹んでお悔やみ申しあげます。

松倉 昭二氏 (23頁)

参与・元代議員会副議長

2019 (令和元) 年 6月17日 逝去

■ 夏季一斉休業期

2019 (令和元) 年

8月13日 (火) ~ 8月16日 (金)

■ 事務局よりのお願い

【会費納入について】

宮陵会の安定的な運営のため、会費の納入をお願い致します。

会費が未納の場合は、会員資格が「普通会員」となり、代議員となる資格がなくなる場合があります。

詳細につきましては、同封の【会費納入要領】をご参照ください。何卒、よろしくお願ひ申し上げます。

■ 住所等の変更について

登録されている氏名・住所・電話番号・勤務先などに変更があれば、ご連絡をお願い申し上げます。

① 神奈川大学ホームページ
卒業生のひろば

(<http://alumni.kanagawa-u.ac.jp/>)

② FAX 045-413-0791

③ Email: kyuyou-jinnu@kanagawa-u.ac.jp

*登録いただきました情報につきましては、皆様の個人情報的重要性を深く認識し、「学校法人神奈川大学プライバシーポリシー」に従い適正な保護管理に努めています。